

YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY

Rotary
横浜旭ロータリークラブ



世界に希望を生み出そう

2023-24年度 RI会長／ゴードンR.マッキナリー
RI.D2590ガバナー／樋口 明
横浜旭RC会長／田川 富男



ウクライナ避難民支援



ポリオ撲滅運動
パキスタンにて

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-37-3 NUTS1階／〒241-0821
TEL.045-465-6702／FAX.045-465-6712
<http://yokohamaasahirc.cho88.com>
Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 二俣川相鉄ライフ4Fコミュニティサロン
例会日 月3回水曜日／12時30分～1時30分

2024年 5月 8日 第2542回例会 VOL.55 No.31

- 司会 SAA 北澤 正浩
- 開会点鐘 会長 田川 富男
- 斉唱 奉仕の理想・四つのテスト
- 出席報告

会員数	20名	本日の出席数	15名
本日の出席率	78.95%	修正出席率	70.00%

- 本日の欠席者 日向、中谷、目黒、宋
- オンライン出席者 佐藤(真)、福村
- 他クラブ出席者
新川(地区)
- ゲスト

新川智美様(横浜南RACチャリティーコンサート実行委員長)

- 会長報告 田川 富男

GW(コールデンウイーク)はどうでしたか？
自分は仕事柄ですが事務所の番をしていました。
サービス業の性(サガ)ですね。この円安ドル高では海外旅行も厳しいとは言え、国内旅行で家族サービスをされた方々も多かったと思います。

今日は、新川会員のお嬢さんである、智美さんの卓話をさせていただきます。皆さんもご存知ですが、小学生の頃からクリスマス会に参加されていました。お嬢ちゃんも今では、お嬢さんとなりロータアクトで活動、活躍されています。今日はよろしく願いいたします。

そして、5月に入り今期も残すところ、2ヶ

月となりました。感じるのは、次年度の理事会が開催されメンバーがほぼ同じでも雰囲気が変わり新鮮な気がします。そう思うのは自分だけでしょうか。後の2ヶ月もよろしく願いいたします。

- ガールスカウト神奈川県第102団より

横浜旭ロータリークラブ 会長 田川富男様
拝啓 過日はお忙しい中、クリーン作戦にご参加いただきまして、誠にありがとうございました。当日は汗ばむくらいの良い天気でした。

毎年皆様方に温かく見守っていただきながらの清掃活動、感謝申し上げます。今年も暖かったのか、つつじの植え込みもかなり茂り、ゴミを取るのに苦労しましたが、スカウトたちは一生懸命ごみの回収を頑張っておりました。ごみの量は減りつつありますが、マスク、空き缶、ペットボトル、たばこの吸い殻などまだまだごみゼロにはなりません。道行く人が「ご苦労様」と声をかけてくださり、この清掃活動を続けることで、地域に根差した活動の重要性を感じました。

今後も横浜旭ロータリークラブのみなさま方とも、クリーン作戦だけでなく、青少年の活動で何かご一緒できる活動がございましたら、是非お声をかけていただければ幸いです。

最後になりましたが、活動支援のお心遣いあ

りがとうございました。

まずは御礼申しあげますとともに、今後の横浜旭ロータリークラブ皆様のますますのご発展をお祈り申しあげます。 敬具

■幹事報告 岡田 隆

○例会臨時変更のお知らせ

▶横浜あざみ RC

5月22日(水) 12時30分新横浜グレイスホテル
渡辺大樹様「世界って変えられると思う」

5月29日(水) 休会

■次年度理事会報告 市川 慎二

■次年度プログラム委員会 五十嵐 正

次年度プログラム委員会よりアンケートのお願いです。別紙。例会のプログラムは例会の魅力をもつ大切要素です。各自ご提出をお願いします。

■次年度活動方針について 会長 EL 北澤正浩

「ロータリー活動を通じて地域に安心を」

北澤正浩

2024-25年度、横浜旭ロータリークラブの第56代会長を務めさせていただくことになりました。前回の会長就任時は、新型コロナウイルス

2024~2025年度 横浜旭ロータリークラブ	
第三回 理事役員会議事録	
日時	令和6年4月17日(水) 13時30分より
場所	例会場
出席者	北澤正浩 岡田隆 田川富男 安藤公一 五十嵐正 新川尚 関口大樹 市川慎二
欠席者	佐藤真吾
【報告事項】	
1 2024~2025年度 国際ロータリー(RI)テーマ決定について 次年度 RI ステファニー・アーチック会長エレクトより ・英語 「The Magic of Rotary」 ・日本語「ロータリーのマジック」	
① 次年度地区関係 ・ガバナー 長門はるみ(横浜東RC) ・ガバナー補佐 高橋忠夫(横浜田園RC) ・地区方針「次世代につなごう!!」	
② 次年度主要行事 ・ガバナー公式訪問 7月24日(水) ・ガバナー補佐来訪時のクラブ協議会 7月3日(水) ・地区大会 11月15日~16日	
③ 次年度会長方針 「ロータリー活動を通じて地域に安心を」	
【審議事項】	
1 次年度休会日について 例会開催を月3回とする。	承認
2 夜間移動例会日について 例会3回のうち、1回は夜間移動例会とする。 会場については、二俣川ライフ5階サンハート会議室が候補としてあがっている。 その際は、例会を通常例会通りに食事有りで行う。	承認
3 情報集会の開催について 前期、後期の年2回の開催を予定している。	承認
4 その他 60周年事業への積み立てなどを今後検討し、準備をしていく。 6月5日の親睦フォーラムのプログラムを変更し、次年度第1回クラブ協議会を 例会時に開催する。 ※ガバナー補佐来訪時7月3日に第2回クラブ協議会の開催。	承認

ルスの感染拡大により、思うようなロータリー活動ができなかったことが残念でしたが、今回、再び会長を務めさせていただく機会をいただき、皆様に深く感謝しています。前回の挑戦の悔しさをバネに、今期は全力を尽くしたいと思っております。

さて、当クラブは、東日本大震災や、過去の様々な災害への支援活動を長年にわたり続けており、また、災害に備える啓蒙活動にも力を入れてきました。世間では、今年1月に発生した能登半島地震や4月に起こった台湾地震など、自然災害への支援活動の重要性が一層高まっています。これを受けて当クラブではこれまで以上に災害への備えに注力すべく、地区ロータリーから推奨されている3年間の目標と定め、プロジェクトを立ち上げたいと考えております。このプロジェクトの目標は、地域が災害に見舞われた際に当クラブが地域の商店会、行政、企業等と提携し、被災者に対しより良い避難所の環境を提供することです。

このプロジェクトを始動させた背景には、専門家から学んだ、イタリアの災害時支援体制が日本よりもはるかに進んでいるという事実があります。これに触発され、より被災者に寄り添う支援体制の整備の必要性を感じました。今年度は、啓蒙活動を通じて協力者を集め、プロジェクトチームを結成し、運営体制を構築することを目指しています。

2024-25年国際ロータリーのステファニー・アーチック会長が掲げるテーマは「ロータリーのマジック」です。ロータリーの活動を通じて、人々がつながり、教育、健康、貧困削減などの分野で具体的なプロジェクトを進めることができるのは、まさにロータリークラブ特有の「魔法」のようなものかもしれません。当クラブでも今回の災害対策プロジェクトを含む共通の目標に向かい、協力して今まで成し遂げられないような成果を出していきたいと思っております。

今年度、我々は奉仕活動を強化する一方で、クラブの活性化を図るためにも会員間の親睦を深めることも重要視しています。会員の皆様が参与しやすく、楽しめる環境のロータリークラ

ブを実現するため、全員の積極的な協力と支持を心よりお願い申し上げます。

■クラブ3カ年プロジェクトの解説 五十嵐正 【食をテーマにした地域防災組織作り】

先日の地区協議会の際、

3年間の目標と計画（3-Year Targets）

各クラブで単年度ごとの目標から複数年の目標設定に切り替え、継続性という指標によってクラブの会員増強、地域に根差したクラブ文化等に対する取り組みを始めましょう。といった指針が示されました。

そこで、横浜旭としてどう対応すべきか考えると、単なる思い付きや付け焼刃的な対応ではなく、横浜旭は東日本以来関わってきた防災を軸に計画を立てることが一つの筋道ではないかと考え立案してみました。

それは、先日伺ったイタリアの防災の講演で本当にイタリアでは災害関連死がゼロに驚きました。

そのイタリアの柱、TKB（トイレ・キッチン・ベッド）の仕組みの中で、Kの食についてキッチンカーで、ボランティアとして登録された地域の料理人達が、備蓄の食材から暖かい料理をキッチンカーで提供するという内容でした。

そこで、横浜旭RCが主体となり、災害時に旭区で被災者1万人に2週間、温かい食事を提供できる体制を目標に立て、具体的な支援策の確立と、その取り組みから地域社会における防災意識の向上を目指すというものです。

1、プロジェクトチームの組成

横浜旭ロータリークラブ内にプロジェクトチームの組成し、地域内の人口統計と潜在的な災害リスクを分析し、どの程度の食料が必要か、また、災害時に想定される特定のニーズ（アレルギー対応、高齢者や子供向けの食事など）を大学や災害専門NPOを交えて調査し、その報告書を作成します。

2、新たな組織の運営体制を確立

報告書をもとに旭区に提案し、ロータリークラブ、地域商店会、地元自治体の代表者からなる新たな組織の組成をお願いし、各役割分担を明確にし、その組織の運営体制を確立します。

災害時の食をテーマにした旭区の地域ボランティアの組織設立提案

1年目

横浜旭 RC プロジェクトチーム発足

イタリア防災の公開講座開催

1

現状旭区の災害時の
食事提供の備えは？

人口と統計・災害リスクの検証

栄養士・大学

災害時に特化した NPO

横浜旭 RC 内検証・議論

2年目

提案書の作成

2

行政への提案

地元商店会

地元企業

地元自治体の代表者

新たな組織の誕生

3年目

食材提供企業及び
地元食材提供農家の登録

料理人ボランティアの登録

機材提供企業の登録

災害時模擬訓練実施

3

訓練・検証

定期的な更新検証

災害時に、1万人に2週間温かい食事提供する

ロータリークラブとしての活動はここまでで、その後はその組織のサポートに当たる。

3、ボランティアと資源の確保

地域の料理人をはじめとするボランティアの募集と登録を行い、また、地元の農家や食品メーカーと連携し食材の備蓄方法、保存技術、供給源の確保を目指します。

4、ロジスティクスとインフラの整備

災害発生時の食材配布や調理場所、キッチンカーの配置計画を立てます。電力やガス、水といった基本的なインフラが途絶えた場合の対策を計画します。

5、実践トレーニングとシミュレーション

区民まつり等のイベントを活用し、実際にボランティア料理人が食事を提供する練習を行い、問題点の洗い出しと改善策を実施します。

6、情報共有と啓発活動

地域住民への防災訓練やワークショップを定期的に開催し、プロジェクトの存在とその重要性を周知します。

SNS や地域のメディアを活用し、活動の進捗や成功事例を共有します。

7、定期的な評価と更新

プロジェクトの進捗状況を定期的に評価し、必要に応じて計画を見直し、また最新の防災知識や技術を取り入れ、システムを更新していきます。

▶このプロジェクトは多大な努力と継続的なコミットメントが必要ですが、地域社会のレジリエンス（回復力）を高め、災害時における人々の生命と健康を守るための貴重なステップとなり、ロータリークラブが取り組む事として意義あるふさわしい事業と考えました。

明らかに身の丈の高い目標ですが、ロータリーが日本中に広まったキッカケは、関東大震災当時、今の貨幣価値で140億の義援金が世界中から届いたことから注目を集めたという逸話と符合し、旭区に横浜旭RCありと示すきっかけになればと思います。

■ニコニコBOX

田川 富男／新川智美さん、いつもありがとう。今日の卓話宜しくお願い致します。

佐藤 勉／新川智美さん、卓話よろしく願います。

岡田 隆／新川智美さん、本日の卓話楽しみにしております。

増田嘉一郎／新川智美様、青少年奉仕フォーラムの卓話を宜しくお願い致します。

北澤 正浩／新川智美様、本日の卓話よろしく願います。

安藤 公一／新川智美さん、本日の卓話宜しく願います。

五十嵐 正／新川智美さん、本日の卓話楽しみにしております。よろしく願います。

新川 尚／新川智美様、本日の卓話よろしく願います。

関口 大樹／新川さん、本日の卓話よろしく願います。

市川 慎二／新川智美様、本日の卓話宜しく願います。

■卓話「ポリオチャリティーコンサートについて」
横浜南 RAC 新川 智美

横浜南ローターアクトクラブ所属、ポリオチャリティーコンサート実行委員長の新川智美です。本日は「波響輪音ポリオチャリティーコンサート」についてお話しさせていただきます。まずは、簡単に自己紹介と今年度のローターアクト（以下RAC）についてもお話しさせていただきたいと思います。

去年の5月に入会し一年が経ちました。地区ではRAC社会国際奉仕委員会にも入り、クラブではポリオチャリティーコンサート実行委員長を務めています。今年度の第2590地区RACでは、田中代表を元に新たに四つのことに取り組みました。地区行事では、9月10日に全国統一アクトの日にパラスポーツのボッチャを行いました。ゲストを含め約70名の方にご参加いただき、大変好評いただきました。10月には世界ポリオデーに参加し、ブースの設置やチラシなどの配布、イベントの司会進行から映像制作等ロータリークラブと協力させていただきました。11月には、ロータリーの地区大会にアクトのPRをかねてブースを設置させていただきました。そして、1月27日に第2590地区RACの年次大会を開催しまし



た。少し長いですが、ダイジェスト動画をご覧ください。

本大会には全国から約140名の方にご参加いただきました。たくさん活動した結果、今年度スタート時会員数20名が37名に増えました。次に横浜南ローターアクトクラブの活動としては、通常例会の他に、浦和ローターアクトクラブとの合同例会、毎年恒例タバコの吸い殻拾い&ウォーキング例会、春には和の集いやお花見例会など行いました。クラブ会員数も9名から17名になりました。他にも、山形で開催されました全国RAC研修会や、千葉で開催された関東ブロック研修会、6月にシンガポールで行われるアジア大会APRRCなど、友好地区の行事にも皆んな積極的に参加しています。

たくさんのイベントがある中私が一番印象に残っているのは、横浜南RAC主催「波響輪音〜ポリオチャリティーコンサート〜」です。5月12日(日)に横浜市南公会堂にて開催いたします。地域の高校生、大学生の軽音楽部を中心としたバンド演奏を行います。

波響輪音は「ハキョウワオン」と読みます。名前の由来は、横浜の「波」のようにみんなの心に「響」かせ世界を一つの「輪」に出来るような「音」を目指しています。なぜ私がチャリティーコンサートを企画したのかというと、軽音楽が好きだけです。楽器ができるわけでもありません。好きだからこそ、演奏できる人たちを本当にすごいと思っており、彼らに舞台を作ってあげたいと思うようになったのかもしれません。私が本コンサートで学んだことは、「共同作業の大変さ、大切さ、楽しさ」です。まだ開催はしていませんが、少し実績を紹介させてください。第一回目の開催ということで三つのバンドが集まって欲しいと

思っていました。学校に出演依頼をかけたところ、なんと全部で10バンドの出演が決まりました。また、開催に向けて運営費に対するご協賛のご協力を各RCにお願いいたしました。目標額は20万円だったところ68万5千円もご協賛いただきました。

最初に掲げた目標を悠に超えています。これは私一人の力ではありません。横浜南RACのみんながいたから達成できたことです。ローターアクトでの経験を活かし、2年後帰って来た時にもっとも成長した姿を見せれるようにこれからも頑張りたいと思います。達成できたから終わりではなく、こんなふうにトライしていく姿は変えたくないと思います。それでは聞いてください、B'zで「兵、走る」。

これからも第2590地区ローターアクトクラブをよろしく願いたします。

ありがとうございました。

■次週予告 5/15 中谷会員

波響輪音
〜ポリオチャリティーコンサート〜

2024年
5月12日

開場 12:00 開演 13:00 終演 18:00
入場無料 / 横浜市南公会堂

私たちがローターアクトについて
初めまして！横浜南ローターアクトクラブです。私たちはリーダーシップ能力を磨き、世界中に友達を作りながら、社会で起きているさまざまな課題に斬新な解決策を見つけたいという意欲に溢れた青少年国際奉仕活動団体です。
「波響輪音」の意味は、横浜の「波」のように心に「響」かせ、世界を一つの「輪」に出来るような「音」を目指しています。
チャリティーコンサートで集まりました募金はロータリー日本財団ポリオプラス基金に寄付いたします。

主催 Rotaract Club of Yokohama South
お問い合わせ yokohama-south@rid2590ra.com

ポリオについて
ポリオ（急性灰白髄炎）は脊髄性小児麻痺とも呼ばれ、ポリオウイルスによって発生する疾病です。名前のおり子ども（特に5歳以下）がかかることが多く、麻痺などを起こすことのある病気です。ポリオ根絶は、長年わたってロータリー会員が力を注いでいる活動です。
ロータリークラブの詳しいポリオ根絶活動はこちら→